

## 令和5年度に係る自己点検・評価の報告書

令和6年6月21日  
部局名：農学部

### 1. はじめに

教育課程・学生支援・学生受入・研究・総務（基幹教員等）に関する項目を対象として、令和5年度における状況について下記の実施体制・手順で自己点検・評価を実施した。その結果を報告する。

### 2. 実施体制・手順

内部質保証規則第5条の規定により、農学部長を農学部における内部質保証に関する部局責任者とし、部局責任者の指示の下、以下の体制・手順で自己点検・評価を実施した。教育課程・学生支援に関する項目は教務FD委員会、学生受入に関する項目は入学試験委員会、研究・総務に関する項目は事務室が点検・評価・取りまとめを行い、農学部長・副学部長・フィールド科学センター長からなる農学部長室会議でそれらを点検・検証後、本報告書を取りまとめ、運営会議で承認を得た。

### 3. 総括

令和5年度に農学部で実施した自己点検・評価について、多くの点で適切と評価されたが、教育課程・学生支援については、幾つかで一部注意が必要と評価せざるを得ない項目が検出された。以下の通り、継続的に注意し、必要な場合は改善を図る予定である。

### 4. 前年度の点検・評価の結果、確認された改善を要する事項（前年度の点検・評価実施時点で対応済のものを除く。）の対応状況

該当なし

### 5. 点検・評価の結果、確認された改善を要する事項のうち主要なもの

該当なし

### 6. 点検・評価の結果、確認された全学での検討が必要な課題のうち主要なもの

5-2-8について、学部レベルに下りてくる予算や部局レベルの同窓会では予算的に限りがあり、全学的な経済支援を充実させる必要がある。

### 7. 点検・評価の結果、「注意が必要」とした事項に対し、維持・向上させるための活動計画のうち主要なもの

1-2-2、1-2-4、1-2-8については、全学の3ポリシー改定に伴い農学部の3ポリシー改定を行ったが、農学部HPにおいて未公開のため、公開に向けて継続して検討を行う。また、各授業科目の内容が、改定したディグリー・ポリシー、カリキュラム・ポリシーに沿った内容となっているかを確認できる体制を検討していく。1-2-29については、成績評価分布表の確認は行っているが、成績評価や単位認定が「厳格かつ客観的に」行われているかの確認方法等を検討していく。5-2-12については、引き続き卒年次生へのアンケート結果等を学部内で確認・周知し、結果に基づく改善ができるよう注意していく。

### 8. 点検・評価の結果、優れた成果が確認できる取組のうち主要なもの

該当なし